

常陸太田市

市長 宮田 達夫 様

団地内污水处理施設の使用協定書の取り消しについて

市が敷設した公共下水道接続時に発生した汚水の溢水問題で、はたそめ自治会は緊急対策措置として団地内污水处理施設を貸与した。はたそめ団地の污水处理施設は築30年以上を迎え老朽化が顕著であることに加え、8月25日に市長は市道0139号線団地内貫通道路を強制執行することを宣告し、市内住民に土地収用法による路線説明会を開始した。

市は10月29日に団地住民に路線説明会を開催したが、形式的な説明に留まり住民と約束した環境影響等の資料提出を未だに果たしていない。

また、市長は20年間休止していた路線を検証しないまま前任市長の引継ぎ事業との答弁に終始し、自治会が代替え案を提示しているにも拘わらず、はたそめ住民の意思を受け入れようとしなない。

自治会は市道0139号線計画の課題や問題点を意見書として県や市に提出してきているが、市長は住民が安心して暮らせるまちづくりを進めることが基本姿勢である筈だ。

はたそめ住民2000人超が反対している団地内貫通道路の建設に対し、これまでの市長の答弁や建設部の対応は余りにも団地住民を愚弄し、信頼を失墜した蛮行と言わざるを得ない。

よって、ここに団地内污水施設に関する使用協定書を令和6年3月31日付を以って取り消すものとする。

令和5年12月22日

四季の丘はたそめ自治会 役員一同

〃

会長 小野寺節

